

# 第3回 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

## 会 議 録

1. 会議名 第3回北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

2. 開催日時 平成25年11月28日（木） 午前10時～午前11時30分

3. 開催場所 北杜市役所 西会議室

4. 出席者（敬称略）

出席委員：大山 勲、雨宮正行、原かつみ、輿水順彦、浅川力三（代理清水壽昌）、仲澤幸雄、白倉秀雄、清水 勲、向 一字、進藤幸夫、長坂良一、小幡 宏、細川淳（代理中村慎吾）、中村 学、坂本正輝（代理篠原直樹）、浅川一彦

欠席委員：小池明智、三井茂、坂本伴和

事務局：伏見建設部長、清水建設部次長、土屋道路河川課長、道路河川課維持管理担当 中田、小尾

会議録署名委員 仲澤幸雄、清水勲

5. 議題

① 開会

② 委員長挨拶

③ 議事

(1)地域のまちづくり検討 事例紹介

(2)まちづくりビジョン（素案）について

(3)その他

④ 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 20名

## 8. 審議内容（司会進行：事務局）

### 1 開会

- ・事務局より開会の挨拶

### 2 委員長挨拶

- ・まちづくりビジョン素案について検討をお願いしたい。
- ・今後、まちづくりビジョンは広く市民の意見を聞き、具体的な行動に移せる形に整える。
- ・今年度で終わるわけではなく、今後これを実現するためには長期の時間がかかる。
- ・委員会の内容を正確に報道するよう、報道関係者へお願い。

### 3 議事

（検討委員会設置要綱第6条2項の規定により大山委員長に議長をお願いする。）

#### (1) 地域のまちづくり検討 事例紹介

- ・事務局より、資料に基づき説明。

（委員長）地域の活性化に取り組む市町村、自治体の事例紹介。北杜市の活性化のアイデアを出すための参考資料として紹介。

（委員）基本的に高速道路は必要だと思うが、この検討委員会に出席して違和感がある。高速道路の建設が決定していない状況、あるいはB案が決定していない段階で本委員会が設置された。本検討委員会の目的は何か。

こういう審議会、検討委員会等は基本的に事務方主導で進められる。地元の意見を聞くのは形だけとなるのが心配。私達の意見はどの程度反映されるのか。

（事務局）北杜市にはまちづくり計画という既存の計画がある。今後中部横断自動車道が整備されることにより、北杜市の今後のまちづくり計画自体をどのような形で進めていくかを市としてまとめるために本委員会を設置した。委員会では委員の方、市民の方から頂いた意見を反映し、計画を策定して国に提言する。

（委員）出てくる資料はメリットのみでデメリットの記載がない。作るのが前提でまとめたいということか。市は、高速道路は必要であると考えているのか。

（事務局）市は、高速道路が必要との前提で、本検討委員会を設置している。国で

ルートを決定する前に、市民を含む市全体の考えを国が行う計画にできるだけ反映したい。今後のプラン計画を作るにあたっては、インターチェンジの位置などの議論を重ね、課題を整理した上で国に市のまとめを提言したい。国のスケジュールをにらみながら、先行する形で進めていきたい。

(委員長) この委員会の目的が、高速道路を決定する方向に導くための資料づくりではないことを市民に説明しないといけない。

高速道路の整備が中止になったとしても、本検討委員会はまちづくりを検討する会議であり、今後の北杜市の活性化のために議論したものは、次のまちづくりに繋げていけると捉えたい。

今後、整備が決定すると環境アセスメントなどの手続きに入っていくが、手遅れにならないよう、早目に準備して市の意見を国に伝えていくことが必要。違和感があるかもしれないが、高速道路ができるという前提で前向きな意見をまとめていきたい。

(委員) 作るという前提でこの会議が行われているならば、いかに自分の町が良くなるかという方向で発言したい。

(委員長) 高速道路をこの地域に生かしたい、悪い影響を抑えたいというためには、早めに準備して国に伝えていく事が必要。資料を見ると実は多くの課題や心配もある。今後その課題を解決していく努力が必要。

(委員) 事例集の内容については、例えば、反対に対してどのように乗り越えたかなど、策定に至るまでの苦労話が聞きたい。裏付けの資料が手に入るのであればお願いしたい。

(事務局) 調べられる範囲で見つかれば、情報提供したい。

(委員長) 結果を真似するのではなく。進め方を学ぶことも大事。時間がかかるかもしれないが、本検討会は今年度だけでなく、来年度以降も続くものであるのでできるだけ情報提供をお願いします。

(委員) 北杜市と類似する都市の事例があれば紹介して欲しい。

(事務局) 今回紹介した桜川市は、北杜市と似た環境だと思っている。他の事例については、できる限り調べてみる。

(2)まちづくりビジョン（素案）について

・事務局より、資料に基づき説明。

（委員長）本日の委員の方の意見を含め、今後、パブリックコメント等、市民に提示して意見をいただいていく。

（委員）地域住民主体の取り組みがちょっと浅い気がする。現在、各グループで意見集約しており、市へ要望を出す予定。現計画を考えると光害・騒音などが心配であり、まちづくりビジョン内では、景観保全、防音壁ではなく、低盛土などの意図が読めるが、地域の人たちの将来像を本当に考えた上で道路建設、まちづくりビジョンを進めてほしい。

（事務局）生活環境については、市としても重要視しているので、意見を頂ければできるだけ多くのものを反映し、国に要望していきたい。

（委員長）19pの環境「視点④：良好な生活環境への配慮」をもう少し強調した方が良いかと思う。同じ19pについて、山岳景観だけでなく、農村景観も重要だと思うが、委員の皆さんどうですか。

（委員）北杜市の優れた山岳景観を見に行きたいという気持ちを持ってもらえるような高速道路ができることが活性化に繋がる。また、秋の収穫時の稲干しなど、田畑の田園風景は、市外の人にとって目新しいものを感じられるのではないかと。そういったことに配慮した道路建設を考慮して欲しい。

（事務局）農村景観についてもまちづくりビジョン素案に盛り込む。

（委員長）高速道路ができ、交通環境が変わると予期せぬ開発が起こる。北杜市は計画白地と言われ、都市計画区域に入っていないため、乱開発が懸念される。

（事務局）北杜市は、都市計画区域がないため、都市計画法上では、1ha以上の開発行為のみ規制がある。それ以下では、3,000㎡以上では、県の条例による規制がある。3,000㎡未満の小さな開発は、市の条例規制の取り扱いである。開発行為については、本検討委員会での審議事項とは別になるかもしれないが、開発に対する市の認識を整理していきたい。

（委員長）開発行為の内容は、市が決めるというより、地域住民と一緒に考えていくべき。きめ細かな計画づくりには、数年要すると思うので、課題として挙げておく必要があると思う。

- (委員) 基本理念のフレーズで、最後の協働にだけ「地域」が付いていないが。
- (事務局) 「地域」を付けた表現に修正する。
- (委員) 高速道路が出来た場合の景観の表現について検討して欲しい。
- (事務局) 既存の景観を大事にしようというのはわかるが、高速道路を前提とした景観も重要だと思うので検討していきたい。
- (事務局) 道路を前提とした景観を示せるよう検討していきたい。
- (委員長) パブリックコメント時の資料の提示方法は。
- (事務局) 必要なものを整理し、資料3をベースに意見を頂くことを考えている。
- (委員長) これまで頂いた意見の中の具体的なアイデアを例として盛り込んで提示した方が、アイデアが出るのではないか。
- (事務局) 具体的な意見を盛り込んで資料を作成する。
- (委員) 高速道路ができた時の景観イメージ図が欲しい。
- (事務局) イメージ図を作成する。
- (委員) 具体的なイメージがわかれば地元の気持ちも随分変わる。
- (委員) 長野県側の要望について何か知っているか。太平洋に抜けるのが目的であれば、長坂の方に曲げなくても国道141号を降りてくればよいのではないか。中京方面とのつながりを意識しているのか。
- (事務局) 現在、市として長野側の意向は把握していない。長野側の自治体の要望を確認し、情報提供したい。隣接自治体との連携といった課題も今後検討していく。
- (委員) 長野県側の地域づくり、まちづくりもセットで考えたほうが良い。
- (委員) 八ヶ岳観光圏との関連性も考えるべき。
- (事務局) 関連部署との連携を図りながら、検討する。
- (委員長) ルートが決まる前に要望を固めておくこと、地域で重要と考える代表的な景観スポットへの配慮事項など、具体的な要望を整理することで、環境アセスメントなどの調査に進言できる。
- (委員) 高速道路ができることで盛り土北側の温度が下がるなど、農業環境にも変化があると思われるため、そういったことも絡めて環境の検討を行っていく必要がある。
- (委員長) まちづくりビジョン素案について、内容を精査する時間が少ない。今後

の資料修正を含め、委員の方が資料を確認し意見を言う時間はあるか。

(事務局) 今後の予定として、12月中旬にはパブリックコメントを開始したいため、資料の修正作業も含め、12月10日くらいまでに意見を頂けるとありがたい。

(委員) パブリックコメントは1冊の素案として出すということで良いか。資料2をみると行動計画に関する具体的な意見もあり、こういった意見も盛り込んで欲しい。

(事務局) 委員長からも指摘があったが、具体的な例を盛り込んで、基本1冊としてお出ししたい。場合によっては、別添資料といった形も考えられる。

(委員) 委員の立場、地域によって意見が異なるため、今回の資料を基に、地域の意見を各委員が集約して、使用に反映してはどうか。

(事務局) 委員の方の意見、パブリックコメントによる意見、地区の意見、個別の意見を頂いて整理していきたい。

(委員長) 検討に先立つ意見をもらった団体は、他の団体の意見を見ていない。パブリックコメントと並行して、再度団体に意見聴取してはどうか。第4回の委員会するときパブコメプラス団体への意見としたほうが良い。

(事務局) パブリックコメントと並行し、各区からの意見は文書依頼で行いたい。団体、地域の意見を聞く手法を取り入れる形で進めて行きたい。

#### (5)その他

(事務局) 第4回検討委員会は、2月中旬から下旬頃を予定している。

(委員長) これから市民の方々にこのまちづくりビジョン素案を提示し、たくさん意見をいただきたい。市として、高速道路の建設が始まってから意見を言うのでは遅いので、その前に意見を集約したい意図を伝えながら、具体的に前向きな意見が出るような形にしていきたい。

#### 4 閉会 事務局

会議終了 午前11時30分